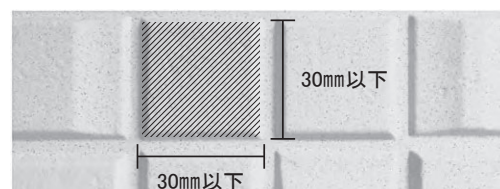


# 1 モエン標準施工法

## 1-17 補修塗装

### 2) 補修作業のポイント

- 釘頭より広く塗り広げたり、厚く塗り重ねたりしないでください。施工途中は足場やネットで補修箇所が暗くわかりにくい場合があります。
- 補修面積が広いと、足場などが外れた際に目立つことがありますので、丁寧に塗布してください。
- 傷、カケの補修は柄の形に合わせて極力小さく塗布してください。大きな傷の場合は補修液による補修は行わず、張り替えてください。
- 縦・横30mm以下のモザイク柄は、ピースごと塗りつぶした方が目立ちにくい場合があります。
- **必ず、モエン本体指定の品番を補修に用いてください。**  
Fu-ge小口専用補修液は表面には塗布しないでください。



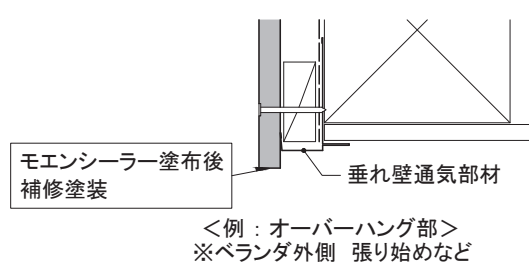
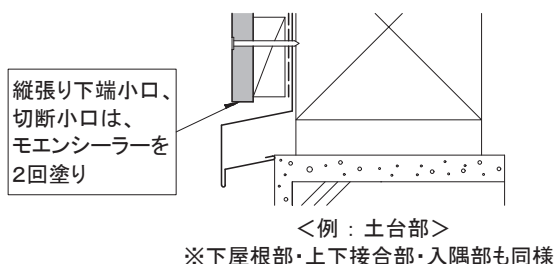
補修液目立ちの不具合事例



補修面積が広いと、塗布直後は目立たなくても経年で左図のように目立つことがあります。  
補修液を溶剤等で希釈しないでください。  
耐候性が不足し、経年による褪色で目立つことがあります。

### 3) 小口の補修塗装

モエンを切断した小口、縦張り施工品の下端小口は、シーリングなどを行わず、必ずモエンシーラー(JF1403)を2回塗り(乾燥後塗り重ね)で塗装してください。また、垂れ壁通気部材使用時など、切断小口が見える部分はモエンシーラーを塗布し、乾燥させた後に、補修液を塗装してください。



### 4) ビス頭の補修塗装

モエンをビスで留め付ける際は、ビス頭がモエン表面より少し沈む(1mm程度)ように打ち込み、補修用パテ(FC5000)でビス頭を埋めます。パテ乾燥後、補修液をパテ部のみに塗布します。

**釘頭・ビス頭ともに、シーリングによる補修処理は行わないでください。シーリングの劣化による白化や、汚染による目立ちのおそれがあります。**

